

令和 5 年 5 月 1 日

大阪司法記者クラブ加盟社 御中

大阪高等裁判所事務局長 松 永 栄 治

平木正洋大阪高等裁判所長官の就任記者会見について

標記の記者会見を下記の要領で行いますので、貴社から出席される記者の氏名及び撮影スタッフの同行の有無（同行が有る場合は、その人数）を、5月9日（火）までに、幹事社において取りまとめの上、総務課広報係までお知らせください。

記

1 日時

令和 5 年 5 月 2 6 日（金）午後 2 時から午後 2 時 3 0 分まで

（午後 1 時 2 0 分開場。広報係長から事前説明を行いますので、午後 1 時 5 0 分までにお集まりください。）

2 場所

第一会議室（本館 1 1 階）

3 配席等

別紙第 1 のとおり（着席位置は自由。ただし、代表質問を行う幹事社を除く。）

なお、会場の都合上、出席者については各社 1 人まで、撮影スタッフについては、新聞・通信各社は 1 人まで、テレビ各社は 2 人までとする。

4 進行方法

大阪司法記者クラブから事前に提出された質問事項について、幹事社が代表して質問し、その後、各社が個別質問を行う。

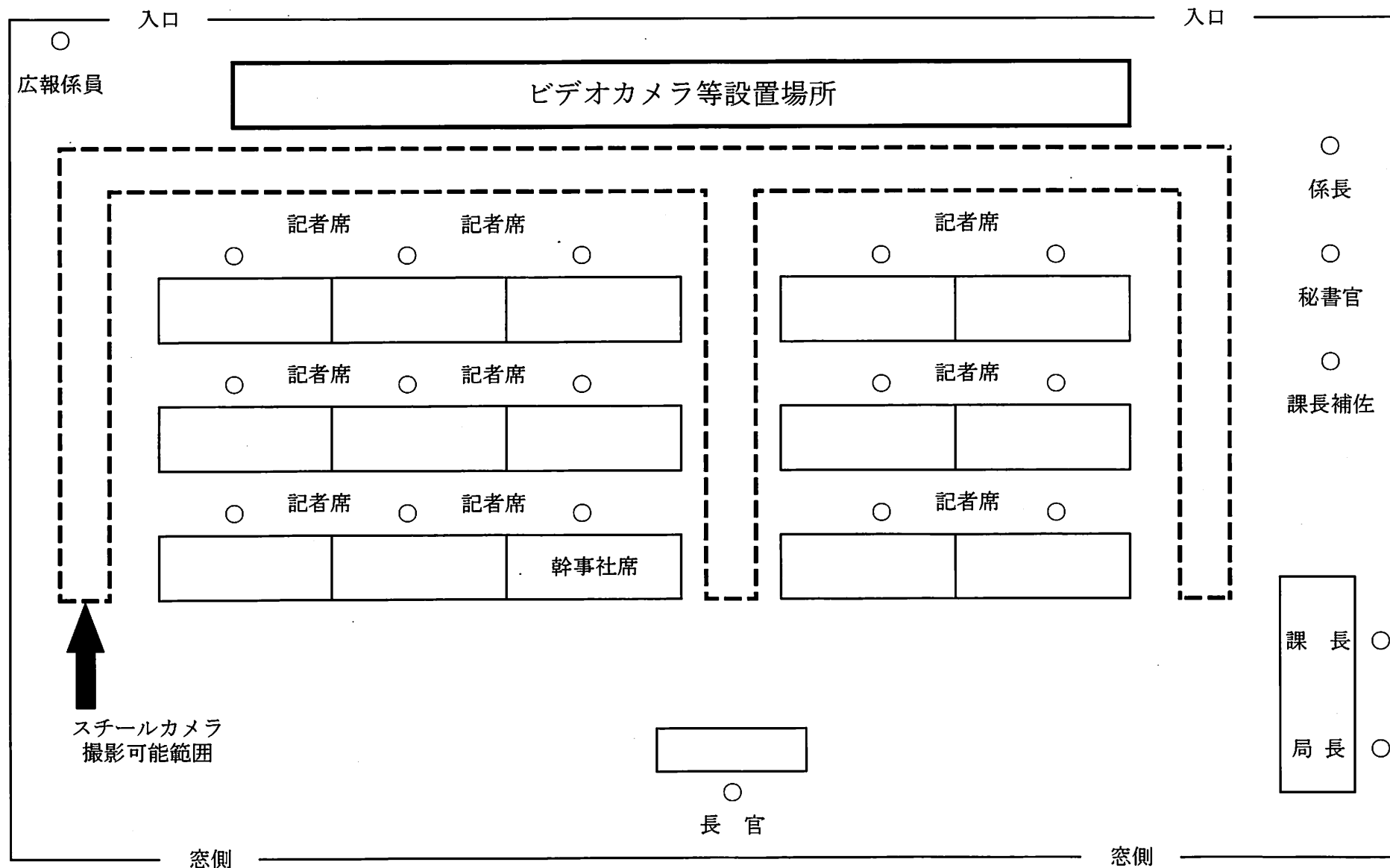
その他の進行方法については、別紙第2のとおり

5 記者会見における撮影等

- (1) 長官が着席してから、幹事社による代表質問が終了するまでの間、各社によるカメラ撮影を許可する（撮影位置は別紙第1のとおり）。
- (2) 代表質問終了後、全ての撮影スタッフは、係員の誘導に従って退室する。
- (3) 撮影の間（代表質問終了までの間）は、録音することができる。

(別紙第1)

R5.5.26 本館 1 1 階第一会議室



(別紙第2)

午後1時50分

広報係長から記者会見要領の説明

午後2時

撮影	
(1) 長官入室	不可
(2) (長官着席後) 広報係長から撮影開始の合図	可
(3) (司会による進行) 記者会見開始	
(4) 代表質問開始	
(5) (代表質問終了後) 広報係長から撮影終了の合図 ・ 撮影スタッフは退室する。	不可
(6) 個別質問開始	

午後2時30分(最大延長午後2時45分まで)

記者会見終了

平木正洋 大阪高等裁判所長官略歴

氏 名 ひら き まさ ひろ
平 木 正 洋

生年月日 昭和 36 年 4 月 3 日

出身地 兵庫県

昭和 59 年 10 月	司法試験合格
60 年 3 月	東京大学法学部卒業
60 年 4 月	司法修習生（39 期 修習地 神戸）
62 年 4 月	東京地方裁判所判事補
平成 4 年 4 月	外務省北米局北米第二課外務事務官
4 年 7 月	在アメリカ合衆国日本国大使館二等書記官
6 年 8 月	東京地方裁判所判事補
9 年 4 月	佐賀地方・家庭裁判所判事補
11 年 5 月	佐賀地方・家庭裁判所判事
12 年 4 月	最高裁判所調査官
17 年 4 月	東京地方裁判所判事
19 年 8 月	最高裁判所刑事局参事官
22 年 2 月	東京地方裁判所判事
23 年 4 月	最高裁判所情報政策課長
25 年 4 月	東京地方裁判所判事 部総括
27 年 3 月	最高裁判所刑事局長兼最高裁判所図書館長
30 年 1 月	前橋地方裁判所長
31 年 4 月	東京高等裁判所判事 部総括
令和 3 年 10 月	東京地方裁判所長
5 年 4 月	大阪高等裁判所長官

【関与した裁判】

- 1 裁判年月日等： 東京地判平成 7.11.13
事 件 名： 殺人、銃砲刀剣類所持等取締法違反被告事件
出 典： 判例時報 1 5 6 9 号 1 4 8 頁、判例秘書、D1-Law.com 判例体系
- 2 裁判年月日等： 東京高判令和 3.3.23
事 件 名： わいせつ略取誘拐、強制わいせつ致死、殺人、死
体遺棄被告事件
出 典： 判例タイムズ 1 4 9 9 号 1 0 3 頁、判例秘書、D1-Law.com 判例体系

【著書・論文等】

(執筆者の一人として関与)

- 1 標 題： 裁判官から見た当事者の尋問技術について (『これからの
刑事司法の在り方』 池田修先生 前田雅英先生退職記念
論文集)
出 版： 弘文堂 (2020 年 7 月)
- 2 標 題： 因果関係 (『裁判員裁判時代の刑事裁判』)
出 版： 成文堂 (2015 年 5 月)
- 3 標 題： 裁判員制度の下における大型否認事件の審理の在り方 (司
法研究報告書)
出 版： 司法研修所 (2008 年 3 月)